

■男子シングルの

決勝

LAURENT MIKAEL(FRA)

MATHE GABOR(HUN)

今回調子が非常に悪いlaurentに対し、フットワークがとても軽快なmathe。

さらにレッドクレイの感覚に違和感がありそうなlaurent選手。時々足元を気にしたり、イレギュラーに過敏に反応したりと集中できにくい状態となっていました。

3セット目も5-4とリードしたのですが、そこからの集中が発揮できませんでした。

一方mathe選手はlaurent選手のアプローチにもフットワークを使ってしっかりパスを打ちポイントを取ることになりました。常に安定したストロークで自分からのミスを減らし、徐々に自分のペースに持っていく事が出来ました。

3位決定戦

FLINDELL GLEN(AUS)

624

266

KARGL MARIO(AUT)

前半はflindell選手の球際のタッチ・しっかり追いついて返すフットワーク共に良く自分のペースに持っていく事が出来ました。今大会のfindell選手は調子が良いです。

しかし、ストロークの安定感があるkargl選手は徐々にストロークの精度が上がり、深いボールが増えていきました。深いボールが増えると球際のショットが多くなり徐々にタッチが無くなって行きます。

ここから逆転が始まりました。

ファイナルセットはお互い意地の張り合いになりましたが、深く打ち続け相手に終始主導権を握らせなかったkargl選手の勝ちとなりました。

